

都市の構造変動と ローカル・コミュニティの様相

玉野和志 教授 首都大学東京

2009年 7月8日 (水) 18:10~19:40
明治学院大学白金キャンパス 3号館 3203教室

都市化の時代、郊外化の時代、再都市化の時代と
近代の資本主義成立以降の都市発展の時期を分けて
それぞれの時代の代表的なローカル・コミュニティの様相を描く

都市化の時代においては

遷移地帯としてのスラムと労働者居住地区の形成を

郊外化の時代においては

フォーディズムのもとでの郊外住宅地の発展と

そこでの女性を中心とした活動の展開を

再都市化の時代においては

脱工業化にともなうジェントリフィケーションの様相について

それぞれ英米のモデル的実態の紹介と、日本に特殊な実情を
品川や川崎・横浜の調査事例に引きつけながら紹介します

私たちの都市とコミュニティ
いっしょに考えませんか

参加費：無料 定員：80名 ※どなたでも参加できます

— 問合せ先 —

明治学院大学白金キャンパス 社会学部付属研究所

Tel: 03. 5421. 5204 Mail: dish@soc. meijigakuin. ac. jp